



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月8日

上場会社名 株式会社今仙電機製作所
コード番号 7266 URL <https://www.imasen.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 櫻井孝充
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 井上達嗣
四半期報告書提出予定日 2023年2月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
TEL 0568-67-1211

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	74,210	16.9	572		628	10.0	278	
2022年3月期第3四半期	63,467	3.3	97		570		274	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,286百万円 (251.5%) 2022年3月期第3四半期 650百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	12.14	
2022年3月期第3四半期	11.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	88,353	51,652	58.0	2,242.99
2022年3月期	80,157	49,777	61.7	2,150.02

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 51,280百万円 2022年3月期 49,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		10.00		5.00	15.00
2023年3月期		7.50			
2023年3月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,500	16.8	650		620	0.5	730		31.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	23,475,352 株	2022年3月期	23,475,352 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	612,920 株	2022年3月期	482,005 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	22,988,456 株	2022年3月期3Q	22,983,663 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、長期化するロシアのウクライナ侵攻による資源価格上昇、世界的なインフレや円安の進行などによる物価上昇、中国ロックダウンの影響に伴うサプライチェーンの混乱による部品供給不足といった景気の下振れリスクが山積しており、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界におきましても半導体供給不足、原材料価格の高騰、国際物流混乱の影響を受け厳しい状況が続いております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は74,210百万円（前年同期比16.9%増）、営業損失は572百万円（前年同期は97百万円の利益）、経常利益は628百万円（前年同期比10.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は278百万円（前年同期は274百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(a) 日本

半導体供給不足による影響が残るものの、得意先の受注増加により売上高は30,176百万円（前年同期比15.1%増）、営業利益は428百万円（前年同期は727百万円の損失）となりました。

(b) 北米

為替影響により売上高は19,996百万円（前年同期比25.6%増）となりましたが、港湾問題による輸送コストの増加により営業損失は2,062百万円（前年同期は697百万円の損失）となりました。

(c) アジア

為替影響により売上高は24,038百万円（前年同期比12.7%増）となりましたが、タイにおける不具合対応費などにより営業利益は1,231百万円（前年同期比29.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当第3四半期末における総資産は、88,353百万円（前期末比8,195百万円の増加）となりました。流動資産は、現金及び預金の減少（2,657百万円）、受取手形及び売掛金の増加（4,267百万円）、棚卸資産の増加（3,923百万円）などにより、61,138百万円（前期末比7,396百万円の増加）、固定資産は、機械装置及び運搬具の増加（395百万円）などにより、27,214百万円（前期末比799百万円の増加）となりました。

(ロ) 負債

当第3四半期末における負債は、36,700百万円（前期末比6,321百万円の増加）となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加（前期末比3,094百万円）や短期借入金の増加（2,644百万円）などにより29,169百万円（前期末比6,315百万円の増加）、固定負債は7,531百万円（前期末比6百万円の増加）となりました。

(ハ) 純資産

当第3四半期末における純資産は、51,652百万円（前期末比1,874百万円の増加）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果減少した資金は、3,346百万円（前年同期は1,867百万円の増加）、投資活動の結果減少した資金は、1,246百万円（前年同期比44.5%減）、財務活動の結果増加した資金は、1,139百万円（前年同期は1,257百万円の減少）となりました。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は15,880百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,346百万円の減少となりました。これは主として、減価償却費が2,170百万円、仕入債務の増加額が1,872百万円であったものの、売上債権の増加額が3,912百万円、棚卸資産の増加額が2,220百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,246百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が1,351百万円であったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,139百万円の増加となりました。これは主として、短期借入金の純増額による収入が2,064百万円であったものの、長期借入金の返済による支出が1,371百万円であったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年11月7日に公表しました予想から変更はございません。なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,710	17,053
受取手形及び売掛金	15,592	19,860
電子記録債権	4,623	6,279
棚卸資産	12,412	16,335
その他	1,691	1,892
貸倒引当金	△288	△282
流動資産合計	53,742	61,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,912	7,102
機械装置及び運搬具(純額)	4,920	5,315
その他(純額)	8,612	8,695
有形固定資産合計	20,445	21,112
無形固定資産		
その他	476	655
無形固定資産合計	476	655
投資その他の資産		
投資有価証券	4,822	4,715
その他	701	758
貸倒引当金	△30	△27
投資その他の資産合計	5,492	5,446
固定資産合計	26,414	27,214
資産合計	80,157	88,353
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,077	11,171
電子記録債務	5,072	5,635
短期借入金	4,121	6,765
未払法人税等	387	367
賞与引当金	975	388
製品保証引当金	458	446
その他	3,761	4,394
流動負債合計	22,853	29,169
固定負債		
長期借入金	3,725	2,963
退職給付に係る負債	1,709	1,688
その他	2,091	2,879
固定負債合計	7,525	7,531
負債合計	30,379	36,700

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,289	7,289
資本剰余金	7,041	7,041
利益剰余金	30,367	29,795
自己株式	△389	△471
株主資本合計	44,310	43,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,742	1,630
為替換算調整勘定	3,162	5,814
退職給付に係る調整累計額	221	179
その他の包括利益累計額合計	5,126	7,624
非支配株主持分	341	372
純資産合計	49,777	51,652
負債純資産合計	80,157	88,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	63,467	74,210
売上原価	58,162	69,404
売上総利益	5,304	4,806
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,450	1,413
給料手当及び賞与	1,645	1,772
賞与引当金繰入額	66	64
退職給付費用	78	49
減価償却費	102	117
その他	1,862	1,962
販売費及び一般管理費合計	5,206	5,378
営業利益又は営業損失(△)	97	△572
営業外収益		
受取利息	109	111
受取配当金	163	185
為替差益	215	927
その他	164	166
営業外収益合計	652	1,391
営業外費用		
支払利息	112	162
その他	66	29
営業外費用合計	179	191
経常利益	570	628
特別利益		
固定資産売却益	53	25
投資有価証券売却益	0	72
特別利益合計	53	97
特別損失		
固定資産処分損	90	6
関係会社整理損	0	—
特別損失合計	91	6
税金等調整前四半期純利益	533	719
法人税、住民税及び事業税	700	839
法人税等調整額	81	125
法人税等合計	782	965
四半期純損失(△)	△248	△245
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	33
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△274	△278

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△248	△245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119	△111
為替換算調整勘定	1,040	2,685
退職給付に係る調整額	△21	△41
その他の包括利益合計	899	2,531
四半期包括利益	650	2,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	592	2,219
非支配株主に係る四半期包括利益	57	66

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	533	719
減価償却費	2,494	2,170
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△641	△586
受取利息及び受取配当金	△272	△297
支払利息	112	162
雇用調整助成金	△319	△81
固定資産処分損益 (△は益)	37	△18
売上債権の増減額 (△は増加)	4,815	△3,912
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,941	△2,220
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,143	1,872
その他	617	△557
小計	2,291	△2,749
利息及び配当金の受取額	262	281
利息の支払額	△112	△156
雇用調整助成金の受取額	223	93
法人税等の支払額	△797	△815
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,867	△3,346
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	44	215
有形固定資産の取得による支出	△2,087	△1,351
投資有価証券の取得による支出	△63	△72
その他	△141	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,247	△1,246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	299	2,064
長期借入れによる収入	908	200
長期借入金の返済による支出	△1,387	△1,371
リース債務の返済による支出	△560	△335
自己株式の取得による支出	0	△102
セール・アンド・リースバックによる収入	—	1,008
配当金の支払額	△459	△287
その他	△57	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,257	1,139
現金及び現金同等物に係る換算差額	486	878
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,151	△2,575
現金及び現金同等物の期首残高	18,831	18,455
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△0	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,679	15,880

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2016-02号「リース (Topic 842) の適用」)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2016-02号「リース (Topic 842)」を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、借手は原則としてすべてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、当該会計方針の変更が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	26,213	15,923	21,330	63,467	—	63,467
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,393	28	4,161	11,583	△11,583	—
計	33,606	15,952	25,491	75,050	△11,583	63,467
セグメント利益又は損失(△)	△727	△697	1,750	325	△227	97

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	30,176	19,996	24,038	74,210	—	74,210
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9,593	32	4,423	14,049	△14,049	—
計	39,769	20,029	28,461	88,260	△14,049	74,210
セグメント利益又は損失(△)	428	△2,062	1,231	△402	△169	△572

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。